

## 概要

ISO-2022-JP-3 は、JIS X 0213:2000 の附属書 2 で定義されている符号化方式です。JIS X 0213:2004 において、ISO-2022-JP-2004 に取って代わられました。

符号の構造については ISO-2022-JP-2004 の項を参照してください。違いは本項の以下に記載します。

### ISO-2022-JP-2004 との違い

ISO-2022-JP-2004 との違いは、JIS X 0213 漢字集合 1 面が JIS X 0213:2000 のものであることです。このため、「表外漢字 UCS 互換」の 10 文字を含みませんし、エスケープシーケンスも異なります。

JIS X 0213:2000 の 漢字集合 1 面のエスケープシーケンスは、1b 24 28 4f です。

そのほか、ASCII と JIS X 0213 漢字集合 2 面を用いることができること、またそれらの エスケープシーケンスは、ISO-2022-JP-2004 と同様です。JIS X 0208 も一部制限つきで用いることができます。

### 関連項目

- ISO-2022-JP-2004 - 規格の 2004 年改正によって本項目の符号化方式を更新したものの最新版。
- ISO-2022-JP - JIS X 0208 における同様の符号化方式。